

〔第22回〕

# NCGG-Ri 研究発表会

National Center for Geriatrics and Gerontology, Research Institute

## 筋再生と筋サテライト細胞（筋幹細胞）

再生再建医学研究部

橋本 有弘 部長

2017年10月10日(火) 16時00分～

第1研究棟2階大会議室

筋サテライト細胞は、筋再生を担う骨格筋特異的な組織幹細胞である。その特性及び機能制御に関しては、近年、遺伝子改変マウスを用いた解析によって、めざましい成果が得られている。

一方、dystrophin遺伝子の変異を原因として発症する、ディシェンヌ型筋ジストロフィーは、進行性筋萎縮を呈する重篤な疾患であるのに対し、同じdystrophin遺伝子に変異を持つmdxマウスは筋萎縮を示さないことが知られている。この事実は、筋疾患の発症には、ヒト固有の性質が深く関わっていることを示唆している。私たちは、マウスおよびヒト骨格筋の再生機構の解析から、ヒト固有の制御メカニズムが存在する可能性を見いだしてきた。しかし、マウスとヒトの筋再生機構に違いがあるのかなのか、という疑問に対して明確に答えた研究はない。

筋再生における筋サテライト細胞の役割、ヒトにおける筋萎縮の実態、ヒトとマウスの筋細胞の性質の違い等については、教科書的な事実であると思われるが、科学的な実証が不十分である事柄も多い。

私自身が行った骨格筋再生の研究をもとに「当たり前とされている事実が、本当に当たり前なのか？」という視点から問題を提起し、議論したい。

座長：細山 徹

連絡先：副所長室(内線5002)